



発行責任者 亀岡市立病院広報委員会

〒621-8585

京都府亀岡市篠町篠野田1-1

TEL 0771-25-7313

FAX 0771-25-7312

<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/>

病院理念

- 急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供します。
- 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づいた患者さま中心の医療を行います。
- 地域医療機関と連携し、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み地域医療の向上に貢献します。
- 公共性と経済性を考慮し、市民の理解と信頼を得られる透明性のある病院運営を行います。

CONTENTS

ごあいさつ	1
新任医師自己紹介 その他新任職員紹介	2.3
糖尿病教室からのお知らせ	4
平成28年度亀岡市立病院 健康講座開催のお知らせ	5
トピックス ふれあい看護体験について 病院職員紹介	6
地域連携医のご紹介 編集後記	7
外来担当医表	8



ごあいさつ

残暑の候、今年はオリンピックイヤーとして盛り上がった夏でしたが、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。前号(21巻)の冒頭で玉井院長が述べられたように、欠員に悩んだ常勤内科医師が今春ようやく6名体制となり、南丹病院ならびに京都府立医科大学からの非常勤医師の協力も合わせますと、日常的な内科疾患に対しては十分といえる診療体制を組めるようになりました。特に糖尿病内科については、最新の治療薬の導入のみならず、糖尿病性腎症が原因の血液透析導入予防への取り組みや、糖代謝障害と密接に関係する代謝性肝障害(非アルコール性脂肪性肝炎ほか)の治療についても、府立医大と密接に関連しつつ高度な診療が行われています。他にも地域医療への貢献と充実をはかるため、玉井院長の肝いりで地域連携室の機能強化を筆頭とした内部組織の改革や経営改善への努力が進められ、少しずつその効果が現れています。しかしながら、医師不足でパワーダウンした過去2年間のツケはあまりに大きく、マンパワー的に充足した現在においても、経営状態は「V字復活」とは言えないのが現状です。亀岡市の経済状況も苦しく、市立病院の未来は依然として明るいとは言えません。折しも公立病院の経営改善が国の施策として求められており、従来のような病院単位の医療ではなく、医療圏全体を意識した地域完結型医療へと変革が求められています。キーワードは「統合・再編成」と「ネットワーク化」。たとえば分散した力を拠点施設に集中することで、より効率よく急性期の高度医療を行うと共に、共有した医療スタッフの派遣により回復期・慢性期の「支える医療」までを医療圏単位で実践する、というのが、我が国の医療の未来像です。当院も、まずは今後も「皆様の市立病院」としてあり続けるため、亀岡市と南丹医療圏における役割を見直し、診療科や診療内容の再編成もふくめた変革が必要になるでしょう。その節は皆様にご迷惑もおかけするかもしれませんが未来の医療を支えるため、よろしくご理解の程お願い申し上げます。



消化器センター長兼副院長 天 池 寿

新任医師紹介

7月から2名の医師が新たに入職いたしましたので、ご紹介させていただきます。

整形外科



- ①名 前 …………… 久保恭臣(くぼ やすおみ)
- ②年 齢 …………… 53歳
- ③出 身 …………… 和歌山県
- ④得意とする診療内容 …… 整形外科 関節外科
- ⑤趣味など …………… テニス ゴルフ

⑥皆さまへのメッセージ

京都府立医科大学整形外科から赴任してきました。亀岡市での勤務は初めてですが、20年ぐらいい前の今よりもう少し若かった頃に、南丹病院に勤務していました。老ノ坂トンネルを抜けると霧で真っ白だったのが記憶に残っています。

出身は和歌山県の印南(いなみ)町というところ。お隣の南部町は南高梅の産地として少しは有名ですが、いずれにしても結構な田舎で育ちました。高速道路が通り便利にはなりませんが、通った小学校は統合により廃校となり、過疎の村になっています。

休みの日は、大学時代から続けているテニスで汗を流したり、誘われれば最近少し飛距離が落ちてきたゴルフにも行きます。もちろん家族

の行事は最優先事項??です。

整形外科は、骨折、関節、神経や腱などいろいろな部位を診ますが、私は変形性膝関節症等関節疾患の治療を主に行ってきました。一般的な膝関節、股関節に対する人工関節手術のほかに、今はまだ行っている施設の少ない、膝の一部だけを置換する単顆置換手術も積極的に行っています。また、高齢者に多い大腿骨頸部骨折などでは、できるだけ早く手術を行い機能低下が生じる前にリハビリを行えるよう対応したいと考えています。日々丁寧な診療を心掛け、安心できる医療を提供していけたらと思っています。

整形外科



- ①名 前 …………… 山崎 哲朗(やまさき てつろう)
- ②年 齢 …………… 34歳
- ③出 身 …………… 滋賀県
- ④得意とする診療内容 …… 整形外科
- ⑤趣味など …………… ゴルフ、テニス、旅行

⑥皆さまへのメッセージ

前任地の京都府立心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院から平成28年7月に当院に着任いたしました。整形外科の中でも手の外傷や機能障害に興味があり、研鑽を積んでおります。もちろん、手以外の四肢の骨、筋肉、関節、どこの部位でも全力で診させていただきます。

年を経ると、肩、膝、股関節など節々に痛みが出てくることは避けては通れないものです。

ですが、痛みで自分のやりたいこと・楽しいことを我慢するのは勿体ない!痛みを少しでも和らげて、より充実した人生を送るお手伝いをさせていただきたいと思っております。お困りの方はぜひ整形外科へ!

この亀岡の地で、少しでも地域の皆様のお役に立てるよう努めてまいりますので、よろしく願いいたします。

新任職員紹介

5月に1名、7月に2名の看護師が新たに入職いたしましたので、ご紹介させていただきます。



左から、大西看護師、竹田看護師、廣瀬看護師

2病棟看護師 大西妙佳

5月から2病棟に配属となり、3ヵ月が経ちました。スタッフの皆様には大変親切に教えていただいています。

患者様にご迷惑をかけることがないよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2病棟看護師 竹田美岐

看護学校卒業後、京都市内の病院で約10年間勤め、今回ご縁があり、亀岡市立病院で働かせて頂くことになりました。不安もありますが、早く環境に慣れがなばっていきたいと思います。皆様宜しくお願いします。

1病棟看護師 廣瀬千夏

以前は総合診療内科で勤務していました。今年で看護師4年目と経験が浅く、また今まで経験のない、外科・消化器内科での勤務という事で、慣れない事も多くご迷惑をおかけすると思いますが、先輩方にご指導いただき、頑張っていきたいと思います。宜しくお願いします。

糖尿病教室からのお知らせ

厳しい暑さの毎日ですが、体調はお変わりないでしょうか。この暑さの中運動が思うようにできないと反省しきりの方もいれば、暑さに負けず運動を続けられた方、スイミングやプールでの歩行といった夏にふさわしい運動をされた方、または室内での体操・ストレッチと暑さと上手に付き合った運動をされた方と様々ではないでしょうか。

また、夏バテから食が進まず、望外に血糖が低下されている方もいれば、熱中症・脱水で体調を崩された方もいらっしゃると思います。

思わずアイスクリームやジュースに手が伸びる季節でもあり糖尿病をお持ちの方にとっては難しい季節であったとお察しします。

糖尿病教室では運動療法・食事療法についての教室(10月、12月予定)や糖尿病への理解を深めていただく教室(9月、11月、1月予定)を開催しています。

暑さをうまく乗り越えられた方もそうでない方も、ぜひ一度糖尿病教室をのぞいてみてください。糖尿病教室では、テーマごとの講演だけでなく、実演や質疑応答も行っております。皆様が糖尿病と上手に付き合いしていくお手伝いをさせていただきたいと考えています。

教室では、講義のほかに、みんなで体をうごかしたりします！



今後の教室開催スケジュールです

開催予定	講義内容	講師
9月20日(火)	知っておきたいインスリン治療のメリット	薬剤師
10月18日(火)	みんなでやろう かめまる体操	看護師
11月15日(火)	自分の足をみてみよう	看護師
12月20日(火)	目で見て知ろう あなたの適量	管理栄養士
1月17日(火)	もう一度よくみてみよう 自分の体型と糖尿病	医師

糖尿病教室はどなたでも参加いただけます。日程・内容の変更は院内に掲示しますのでご確認ください。皆様のご参加をお待ちしています。

糖尿病委員会

平成28年度 亀岡市立病院 健康講座を開催します!!

先着 200名
参加費 無料

受けてますか？特定健診・がん検診！
～知らなきゃ損する、健診結果のツボ～



亀岡市立病院の医師が、健(検)診についてお話しします!!

健康に関心のある方は、どなたでもお越しください。(申込み不要)

- 日時 : 9月10日(土) 午後1:30~3:00
- 場所 : 亀岡市役所 市民ホール
- 講演

- ◆ 「もっとよく知ろう！特定健診結果の見方」
..... 糖尿病内科部長 濱口 真英
- ◆ 「高血圧のいろは」
循環器内科医長 福居 顯介
- ◆ 「肝臓が悪いと言われたら？」
消化器内科医長 岡田 頼久
- ◆ 「大腸がん検診について」
消化器内科医長 上原 有紀子
- ◆ 「乳がんで大切な命を失わないために」
外科主任部長 田中 宏樹

☆お問い合わせ☆

亀岡市立病院 地域連携室 TEL(0771)25-7313

Topics : ふれあい看護体験

7月27日にふれあい看護体験を実施しました。これは「看護の日」の記念行事であり、次代を担う中学・高校生や一般市民が医療機関で患者様とのふれあいを通し、看護への理解と関心を高めることを目的としています。

今年は、京都府下の高校1年生1名、3年生2名の参加がありました。3名共に看護師志望であり、様々な興味や、想像を膨らませて臨んだ様子でした。

病棟では、血圧測定や聴診、患者様とのコミュニケーションを体験したり、看護師が患者様と関わっている場面や、シーツ交換の見学などをしてもらいました。聴診器で実際に心音、肺音を聞くと、「わぁ、聞こえた！こんな音が聞こえるんですね。」と驚いた様子でした。看護師を目指す高校生の純粋な感性に私達も自然と笑顔になりました。

また栄養科、放射線科、薬剤科、検査科、総務課、外来などを見学してもらい、「病院の中にはこんなにたくさんの専門的な役割をもつ職種の人達がいるんですね。」と、各部門の役割や連携についての学びが出来ました。

体験後の振り返りでは、実際患者様とのコミュニケーションの中で、「看護師さんの存在は、これほどまでに患者さんに大きな影響を与えるんですね。素晴らしい仕事なんですね。」などの感想が聞かれました。

次代を担う高校生が看護職に興味を抱いてくれる事は、私達にとってとても大きな励みとなります。今後も地域の中高生に有意義な体験の場を提供できるよう、努めていきたいと考えます。



当院がこれまで実施してきたふれあい看護体験を評価していただき、6月には、感謝状をいただきました！

病院職員紹介



放射線技術科
診療放射線技師
河野 秀 隆

平成28年4月より放射線技術科で勤務しております河野秀隆です。

三重県出身、園部の京都医療科学大学を卒業しました。以前は名古屋市内の病院に勤務しており、臨床経験は6年目になります。

身体を動かすことが好きで趣味はランニング、スキー、フットサルです。スキーに行く予定がなくても、山には雪があると思うと夜寝ることができず、夜中に1人で家を飛び出しゲレンデに行くこともあります。また、大学時代からフットサルをしておりましたので、亀岡でフットサル仲間を早く見つけ、一緒に

汗を流したいと思っています。

亀岡市立病院に勤務してまだ半年ですが、地域の皆様に少しでも御役に立てるよう日々自己研鑽に努めていく所存です。



白馬八方尾根スキー場にて

当院では、地域の医療機関と連携して、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み、地域医療の向上に貢献することを病院の基本理念として、患者様中心の医療を展開しています。

そこで、本院と関係の深い、地域の連携医療機関を順次紹介させていただきます。

地域連携医のご紹介

ふくしま内科醫院

院長：福島 達夫

住所：亀岡市旅籠町 25

TEL：0771-25-9116

標榜科目：内科、リウマチ科、糖尿病内科、腎臓内科、
リハビリテーション科

診療時間：午前7:00～12:00、午後5:00～7:30
休診は、木・日曜日、祝日、火・水・土曜日午後

院長より一言

ふくしま内科醫院を旅籠町で開業して二年目を迎えました。「この病気にはこの薬といったステレオタイプの治療よりは、この薬がこの患者様の口から内服されて吸収され、細胞膜のこの受容体を通して、この転写因子を抑えることによって効果を発現しているのだ。と思って処方した方が効くような気がするだろう？内科医が全力を尽くすということはそういうことだ。」という、恩師からの厳命を実践するように心がけております。

私は内科を専門にしております。外科とちがって内科には痛みの呪縛を取り除くような劇的な治療法はありません。亀岡市立病院では、私自身、数度の外科的手術でお世話になり、それまで悩んでいた痛みの呪縛から解放していただきました。入院中に篠町の丘からみた亀山城跡の夕景には独特の感情をいただきます。当院からの紹介患者様も大変お世話になっており、入院中の様子のわかる理想的な紹介ができています。今後はともよろしく願います。



編集後記

残暑お見舞い申し上げます。

今年の夏は猛暑になるとの予報で覚悟していましたが、例年とそんなに変わらないようにも思えます。暑いとしんどい、だるいと感じることも多いですが、草花は元気に成長してくれますね。この夏は紫陽花にすっかり魅せられてしまいました。紫陽花といってもたくさんの品種があり、1鉢鮮やかなブルーの紫陽花を購入したことがきっかけで色違いや他品種のものも欲しくなり、気が付けば庭に6鉢も並べてしまいました。

今は新芽を出して元気に来年咲く準備をしているようなので、来年の開花が今から楽しみです。

もうしばらく暑い日が続きますが、体調管理には気を付けてお過ごし下さい。

広報委員会 副委員長 和久 隆 (主任診療放射線技師)

広報誌読者からのご意見等募集案内

本誌『桔梗』の表紙や挿絵に掲載させて頂く写真やイラストを募集させていただきます。テーマの規定はありません。みなさまより多数のご応募を心よりお待ちしております。採用、不採用に関わらず、写真やイラスト、画像データ等のご返却できませんのであらかじめご了承下さい。詳細につきましては、下記担当者までお問い合わせをお願い申し上げます。

【担当者】亀岡市立病院 病院総務課 西田 (平日、午前10時から午後3時まで)

外来担当医表

診療科	月	火	水	木	金
消化器内科	うえ はら ゆきこ 上原 有紀子	せ こ ゆう や 瀬 古 裕 也	おか だ よし ひさ 岡 田 頼 久	—	岡 田 頼 久
循環器内科	にし まさ ひろ 西 真 宏	ひく い けん ずけ 福 居 顕 介	もと やま しんいちろう 本 山 晋一郎	福 居 顕 介	まつ あ りょう へい 松 尾 龍 平
一般内科	き むら たい こう 木 村 兌 弘	けい じょう なが なが 計 良 夏 哉 志 村(予約のみ)	むら かみ まさ お 村 上 雅 朗	濱 口 真 英 木 村 史 子	木 村 史 子
神経内科	—	—	—	まつ うら じゅん 松 浦 潤	—
糖尿病内科	—	—	はし 橋 本 善 隆 もと やま しんいちろう	—	おお さか たか ひみ 大 坂 貴 史
糖尿病内科 (午後)	—	—	はま 濱 ぐち まさ ひで 濱 口 真 英	濱 口 真 英	濱 口 真 英
ペースメーカー 外来	—	—	—	—	松 尾 龍 平 (偶数月の第2週)
皮膚科	—	—	かね まる ま い 金 丸 麻 衣	—	あさ い じゅん 浅 井 純
泌尿器科	—	な や よし お 納 谷 佳 男	—	—	—
泌尿器科 午後(2時~4時)	—	—	—	ぬく い まさ のり 温 井 雅 紀 (第2・4週)	—
外科1診	あき いけ ひさし 大 池 寿 (第1・3・5週) 荒 木 康 伸 (第2・4週)	担 当 医	田 中 宏 樹	天 池 寿	荒 木 康 伸
外科2診	—	みや もと けい こ 宮 本 景 子 (乳 腺)	—	ゆたか ようじろう 豊 洋 次 郎 (呼 吸 器)	—
外科 午後(予約)	た なか ひろ き 田 中 宏 樹 (乳 腺)	宮 本 景 子 (乳 腺)	田 中 宏 樹 (乳 腺)	—	—
麻酔科 (ハインリック)	はし もと とも こ 橋 本 朋 子	—	—	—	橋 本 朋 子
眼 科	なが た けん じ 永 田 健 児	担 当 医	—	担 当 医	—
整形外科 1診	く ほ やす おみ 久 保 恭 臣	玉 井 和 夫 (予約のみ)	久 保 恭 臣	つじ よし ろう 辻 吉 郎	辻 吉 郎
整形外科 2診	やま さき てつ ろう 山 崎 哲 朗	山 崎 哲 朗	山 崎 哲 朗	—	久 保 恭 臣
整形外科 3診	たま い かず お 玉 井 和 夫	—	—	—	—
小 児 科	てら まち しん じ 寺 町 紳 二	寺 町 紳 二	寺 町 紳 二	寺 町 紳 二	寺 町 紳 二
小児科 午後(予約)	寺 町 紳 二 (循環器)	寺 町 紳 二 (予防接種)	寺 町 紳 二 (予約外来)	寺 町 紳 二 (循環器・アレルギー)	寺 町 紳 二 (予約外来)

亀岡市立病院は、在宅で療養されている高齢者等を支援する 京都府の在宅療養あんしん病院に登録しています。



JR馬堀駅から徒歩約5分/京都縦貫道篠インターから車で約5分/駐車場(輪)場有

亀岡市立病院

〒621-8585 京都府亀岡市篠町篠野田1-1
 TEL 0771-25-7313 FAX 0771-25-7312
<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/access/index.html>

「がんばろう日本」～亀岡市は平成28年(2016年)熊本地震被災地の復興を支援します～